



高志台

NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

# 学園だより

Vol.179  
2013. 7. 26発行

## CONTENTS

- |       |               |       |            |
|-------|---------------|-------|------------|
| 02    | 長岡高専は変わります!   | 10    | 学生海外派遣研修報告 |
| 03-05 | 高専に入学して       | 11    | 寮行事紹介      |
| 06-07 | 留学生からこんにちは    | 12-13 | 専攻科だより     |
| 08    | 新入生合宿研修報告     | 14-15 | 新任教職員紹介    |
| 09    | 第48回 全国高専体育大会 | 16    | トピックス      |

## ★高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに”(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。  
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校  
Nagaoka National College of Technology

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

# 長岡高専は変わります！

## 平成26年度からの混合学級導入

教務主事 山崎 誠

平成26年度から、第1学年のクラスに混合学級を導入します。混合学級は、従来の学科別クラスではなく、所属学科の異なる学生によって構成されるクラスです。全国の高専では、約半数の高専が低学年でこの制度を導入しています。混合学級を実施している高専では、混合学級を組む学年が1～2学年の2年間、1学年あるいは2学年のみ1年間のところがあります。本校では、専門学科への接続性も考慮し、1学年のみを混合学級とすることにしました。

混合学級になると、一つのクラスに5学科の学生が混在することになります。入学試験は従来通り行い、所属学科が決まった後に、クラス分けを行います。混合学級は、所属学科、入試成績、男女、寮生と通学生の割合がなるべく均等になるようにクラス分けを行います。通常はこのクラス編成で5学科共通の一般科目（選択科目を除く）の授業を受け、専門科目は所属学科に分かれたクラス編成で授業を受けることとなります。予定では、週2日半日ずつ学科別授業を行う時間にし、その時間は所属学科に分かれて実験実習や専門科目の講義を受けます。混合学級は1年生のみですので、2年生以降は従来の学科別クラス編成となります。

混合学級の実施は、学科の枠を超えた人間関係の構築を目的としています。高専では、クラブ活動や寮生活を除くと他の学科の学生と交流することがほとんど無いまま卒業することになります。高専教育は工学の専門教育として高い評価を得ていますが、一方で学生の視野の狭さや人間間の交流の狭さが課題として指摘されてきました。混合学級はこれらの課題を解決する一つの方法と考えられています。

また、高専は、10代後半という精神的にも肉体的にも人生で最も成長がみられる時期を過ごす場所でもあります。5年間という長い期間を同じ環境の中で過ごすわけですので、ともすると生活が単調になります。低学年においてクラス編成を変えることにより、単調な学校生活に変化と刺激をもたらす、精神面での成長や人間形成への効果が大きいと考えています。

1年間という短い期間であるとはいえ、技術者になるための学業生活の最初の年に混合学級を経験し、人間関係の幅を拡げておくことは、長岡高専での学業生活、技術者としての基本的な人格形成、卒業後の人間関係など、様々な面に利点をもたらすと考えています。

## 英語教育の充実化

英語科主任 大湊 佳宏

本校の英語教育の実践で特筆すべきは、英語多読の実践のように、工学の専門の先生方が英語教育に興味をもち関わっているという点です。今年度、第4学年に英語科が担当する「科学英語」、そして工学の専門の先生が担当する「科学技術英語」の授業がスタートしました。高学年になると英語の授業時間数が減少する実状を大きく改善したわけです。これからも専門教科の教員と英語科の教員の情報交換の場を設け、高専生の英語力育成が期待されています。

さらには、平成24年度に、長岡技術科学大学のアドバンスコースの一環として、「英語プレゼン基礎」

の科目を開講しており、より実践的な英語力の育成にも挑戦しております。本科目では、長岡技大の先生に論理的な思考（ロジカル・シンキング）について講義していただいたり、国際的に活躍している企業の方をお招きし、実践的な英語プレゼンの場面などを紹介してもらったりしております。先日も、日産自動車の上村さんにご来校いただき、Nissan North Americaの社員の方と電話会議で教室をつなぎ、高専の学生が新しい電気自動車のアイデアを英語でプレゼンする事に挑戦しました。これからも新しい事に挑戦し続ける高専生を応援してください。

# 高専に入学して



## 新たなスタート地点

機械工学科1年 井嶋 稜之

4月5日の入学式をすませ、早くも高専生として2か月が過ぎようとしています。入学前ののんびりとした期間とは対照的な毎日が新鮮であり多忙な日々でした。他校の友人には驚かれる90分授業にもようやく慣れ、期待していた機械工学科の実験実習も始まりました。好きな分野の友人たちが集まった雑談も楽しいし、充実した時間を過ごしています。

生活面では、親元を離れ先輩や同級生と同じ生活を共有する寮生活にもようやくなじんできました。寮では様々な行事があり、集団で生活する中での規則も大変ですが、最初の不安もすぐに消え、今では楽しく感じることができています。

中学時代とは全く違う環境ですが、新しく多くの友人ができ、様々な体験をして、日々色々な事を吸収出来るのが楽しいです。まだスタートしたばかりですが、今、この時間を大切に、悔いのない5年間を過ごしていきたいです。



## 高専に入学して

電子制御工学科 曾根 森之介

4月にここ長岡高専に入学して早いもので2か月が経ちました。入学してすぐには妙高での合宿研修がありました。始めこそ少なかった会話も次第に多くなっていき、研修の終わる頃には同じ趣味の話題で盛り上がるほどになりました。またクラスごとの自己紹介やオリエンテーションも互いを知る良い機会になりました。そういった意味でも入学直後のこの研修はとても大きな意味を持っていたと思います。最近では初めての定期試験がありました。中学までとは授業の進め方が大きく変わっている教科もあり対策にとっても苦労しました。またもう一つ変わった事として専門教科があります。高度な技術を身につけていく為の土台としての1学年での専門教科は確実に理解したいと思います。まだ長い高専生活は始まったばかりです。自分が何をしたいのかという目的意識をしっかりと持ち、高い志を忘れず充実した高専での学習に取り組んでいきたいです。



## 友達ができました

電気電子システム工学科1年 青柳 いちご

長岡高専に入学当初、私には幼なじみと同じ中学校出身の男子2人の友達しかいませんでした。私は人見知りなので、初めは新しい環境の中、誰一人話しかけることができず、教室でさみしい思いをしていました。新入生合宿研修も不安でしたが、いざ始まると、同じ部屋になった子や、またその友達ともたくさん話せて、だんだん不安が楽しさに変わっていききました。学科もタイプも違うけれど、一緒に行動し、雑談などできて、本当に楽しかったです。人見知りの私に声をかけてくれた友達に本当に感謝しています。2泊3日、とても長いなと思っていましたが、最終日は少しさみしい気持ちでした。合宿研修でたくさんの人と友達になれて、これからの高専生活が楽しみになりました。ここでできた友達をずっと大切にしていきたいです。



## 高専に入学して

物質工学科1年 小池 みさき

「努力を惜しむな！」これが高専に入学するときに掲げた目標です。私はこの学校に入りたいと思い本気で勉強を始めたのが遅く、とても後悔しました。そして、無駄にしてしまった時間は戻せないことを身に染みて感じました。

高専生となった今、これからの5年間後悔のない時間を送りたいと思います。私の後悔は努力を全力でしなかったことなので、学業はもちろんのこと委員会やクラブ活動など、やりたいこと出来ることは全力でやって、一度しかないこの時間を充実した楽しい、濃いものにしていきたいと思っています。

一生大事にできる友達もできたらいいなと思っています。

楽しい生活になるのを待つのではなく、充実していると感じられる素敵な時間を過ごせるよう努力することを自分に宣言します！



## 高専に入学して

環境都市工学科1年 **樋口 裕武**

自分は今、高専に入学してとても満足しています。理由として、普通の高校とは違う楽しさがあることです。

違う楽しさの一つとして、かなり自由であることです。服装の自由は、特に、服装で人の個性が出て、観察してみるのも楽しいです。他の楽しさとして、行事が大規模で楽しいということです。文化競技会は全校が参加し様々な企画が行われ、大変盛り上がったと思います。

楽しい反面、勉強も大変です。授業は90分授業と長く、集中することは大変でしたが、最近少し慣れました。最初のテストを経験して、もっと勉強しなければと思いました。

高専の新しい環境にも大分慣れ、毎日の生活も楽しくなってきました。将来のことも考えながら、これからの高専生活を頑張っていきたいです。自分の、高専という選択に後悔しないように、日々を有意義に過ごしたいです。



## 高専に入学して

電子制御工学科4年 **青柳 大佑**

私が高専に編入学して、約3か月たちました。

編入学試験が難しく、高専の勉強についていけるかとても不安な気持ちで入学式を迎えた事を、今でも鮮明に覚えています。

入学して最初に大変だと思ったことは授業時間が90分だということです。それまで50分の授業に慣れており、集中力が保てない日々が1か月程続きました。

また、入学から数週間後に初めてのレポート課題が出た時も苦労しました。実験のレポートは主にソフトに打ち込んで提出するのですが、操作から覚えなければならずとても大変でした。期限以内に提出するのも難しく、ようやく終わったと思ったらすぐに別のレポートの期限が迫っており、休む暇がありませんでした。

そうしているうちに中間テストの時期になり、溜まっていた課題などと並行して進めるのに苦労し、帰ってきたテストを見たときは震えが止まりませんでした。

しかし辛いことばかりでなく、高専特有の明るく自由な校風による行事や、期待していた専門的な分野の学習ができるなど楽しいこともありました。

それらを支えに次の期末試験に向けて勉強量を増やし、計画的な長期学習を意識してこれからの2年間で留年することなく卒業したいと思っています。



## 高専に入学して

電子制御工学科4年 **今井 健太**

私が高専に入学して3か月经ち、日々の生活にも慣れてきたと感じています。

編入する前に私はクラスに馴染めるか不安でしたが、入ってみるとクラスの雰囲気はとても良く、中学校の知り合いも居たためすぐに馴染むことができました。

編入してからは驚くことも多々あり、まず授業時間の違いに驚きました。高校の授業は50分だったのですが、高専の授業は90分で最初の頃はとても長く感じ大変だったことを覚えています。

次に驚いたことは授業の難しさです。高専の授業では高校時代に学習をしていなかった内容もあり、授業内容を理解できないことが多くありました。わからなかった所は先生や友人に聞いて理解するようにしています。

他にも実験レポートの作成も今までに使ったことのないTeX言語を使わなければなりません。手順などを教えてもらったり、調べながら何とか作成しています。

課題に追われる日々が続きますが普段から勉強を続け、周りについていけるように頑張っていきたいと思っています。



## 高専に入学して

物質工学科4年 **小野 礼司**

私が高専に編入学して、もうすぐ3か月が経ちます。入学するまで、高専のことについて知らないことが多かったのですが、はじめは戸惑いました。

まず、レポートが多いことです。私は普通科高校からの編入学なので、実験が少なく、レポートは書いたことがありませんでした。なので、クラスのみんなや、寮生には今もとてもお世話になっています。

学習面では、高専の化学は分野が細かく分けられており、1つ1つの授業内容がとても高度で、授業中に理解できないところがあります。分からないところについては、授業が終わってからクラスメイトに教えてもらっています。皆さん丁寧に教えてくれるので、助かっています。高専に入学する前はクラスに馴染めるか不安でしたが、優しい人が多く、良くしてくれるので大変居心地が良いです。

最後に、課題やレポートなどを手伝ってくれる友人、補習をして下さる先生方にはとても感謝しています。まだまだ慣れないことばかりですが高専に早く慣れ、なるべく時間を有効に使えるようになりたいと思っています。



## 専攻科に入学して

電子機械システム工学専攻1年 歌川 駿

この学校での生活もとうとう6年目になりました。本科に入学したとき、まさか専攻科に進学するとは思いませんでした。私が専攻科進学を決めた理由は、就職と大学院進学の両方できることで、大学に編入するよりも選択肢が広がることと、研究を続けて行えることでした。専攻科入学当初は就職希望でしたが、現在は自分の得意な分野をもっと勉強したいと思い、大学院進学を考えています。専攻科に在学する2年の間、以下のことを主に努力したいと思っています。

まずは特別研究ですが、私の研究室では機械系であります。太陽電池の研究をしています。本科5年生の進路決定の際、これを継続したいがために専攻科進学を決めたと言っても過言ではありません。難しい分野で理解に苦しみ点多々ありますが、研究時間は私にとって有意義なものです。研究も2年目に入りました。技術知識共にまだまだ未熟ですが、研究室メンバーと協力して専攻科に在学する間に成果を出せるように頑張りたいと思います。

次に、大学院進学に向けての学習です。普段の授業も当然ですが、1年後には大学院入試が控えています。苦手な英語を中心にしながら数学や物理など基礎的な内容、専門科目の学習を怠らないようにしたいと思います。また、大学院修了後の就職等も見据えて今後の進路を考えていきたいと思っています。

最後に、研究や勉強、インドア系な趣味などであまり外に出ないので、なるべく外に出ることも目標に加えたいと思います。

最初の頃は、うまくいかないことばかりで実験をやりたくありませんでした。しかし、成功したときの嬉しさは「成功したー!」と、いろんな人に言いたくなるくらい嬉しかったのです。一段階進んだだけなのにとても感動したことを、今でもおぼえています。そして私は、この研究テーマを最後までやり遂げたい、と思うようになりました。目的化合物まで合成できたときの感動を味わいたいです。これが私が専攻科に進学した理由です。

専攻科では、研究を頑張ることはもちろん、TOEICや資格の勉強も頑張りたいと思っています。冬には就活がはじまるので、少しでも自分の強みになるようなものをもちたいと思っています。

今の環境をあたえてくれた両親、先生方、仲良くしてくれる友達、後輩に感謝し、「2年間頑張った!」と、胸をはって修了できるように専攻科での生活を頑張りたいと思います。



## 専攻科に入学して

環境都市工学専攻1年 阿部 真之介

専攻科に入学し早いもので3か月が経とうとしています。同じ学校に通っているため学習環境は本科の時と変わらないのですが、授業のコマが少なくなったり、毎回出される課題が多くなったりする点が、本科の時と大きく変わりました。初めのうちは課題が多く感じ提出がギリギリになったりして大変でしたが、早め早めに課題に手を付けるようにし、ようやく慣れてきました。本科の時と同じ環境なのですが、本科の時と先生方の対応が変わったなと感じています。やはり長く在学していれば人間関係が親密になっていくのだと思います。専攻科は本科と比べると比較的授業の空き時間が多く自由な時間が多く取れます。その多い自由時間を利用して課題はもちろんですが、研究や自分の趣味の時間に充て有意義な時間としたいと思います。

今年の後半から来年にかけて就職活動が始まります。今年の夏にはインターンシップがあり、そこで学ぶことから進路に対する考え、視野などが少しでも広げられたら良いなと思います。専攻科の2年間は進路などのことでとても重要な2年となると思います。ぼーっとしているとあっという間に過ぎてしまいそうです。2年間という短い期間ですが、有効に使い充実した専攻科の生活を送ってきたいと思います。

話は変わりますがこの場をお借りして、今年も私の地元小千谷市片貝地区で祭りが行われます。今年は私にとって成人という節目の年なので花火を上げます。日程は9月の9、10日です。皆様ぜひお越しください。今年は様々なイベントがあり充実した1年となりそうです。



## 私が専攻科に入学した理由<sup>(わけ)</sup>

物質工学専攻1年 小林 理賀

こんにちは。私は生物有機化学研究室というところに所属しています。ここでは大型の装置や機械を使って実験するのではなく、三角フラスコやピーカーなどガラス器具を使い、その中で試薬を化学反応させて実験しています。私の研究室では、「ポルフィリン」という名前も構造もおもしろい化合物を合成しています。研究の紹介は書ききれないので、もし興味があったら研究室に遊びにきてください。

有機合成は、たくさんの段階を経て目的の化合物まで合成します。研究室に入る前の私は、実験すれば必ず成功し、さくさく進むものと思っていました。甘かったです。実験も、授業で行うような簡単なものではないし、収率もなかなかあがらないし、失敗もたくさんします。



機械工学科3年  
**リー ヨン セン**  
(マレーシア) 

皆さん、こんにちは。機械工学科3年のヨンセンです。マレーシアから来ました。日本に来る前に、2年間マレーシアの高専予備教育学校で日本語を勉強しましたが、みんなが話す日本語はなまっているから、最初の2か月間は、生活も授業も大変でした。そして、ごみを分別することも大変なことのひとつです。しかし、いいチューターと先輩のおかげで、寮の生活と授業はだんだん慣れてきました。わからない単語も熱心に教えてくれて本当にありがたいです。

長岡高専に入れたことはうれしい限りです。それは私の第一希望だからです。日本は、みんなの言う通り道路の周りがきれいで、治安もいいです。そして、電車とバスの時間も正確です。日本に来ていろいろな新しいことを体験しました。例えば、花見をしたり、浴衣を着たりしました。それから、いっぱい美味しい食べ物も食べました。お好み焼きはその中の一つです。

今はスキーなど体験したいことはまだいっぱいあるので、できればみんなと一緒に過ごしたいです。特に、日本の文化と歴史を学びたいです。

皆さんどうぞよろしくお願いします。



電子制御工学科3年  
**グエン トゥアン アン**  
(ベトナム) 

私はアインと申します。ベトナムから参りました。現在、電子制御工学科で勉強しています。

私は日本留学を決め、自分の夢を現実したいと言う意志を抱いて、東日本大震災直後の2011年4月に日本に来ました。はじめの2年間、日本語学校で日本語を勉強し、日本の生活にも少しずつ慣れて来ましたが、2年が過ぎ、今年の4月に長岡高専に入学して、生活の環境もすっかり変わって来ました。しかし、先生やチューターの皆さんに色々と親切に教えてもらい、家族のような雰囲気寮生活を送る中で、こちらの生活にも早く慣れることができました。

最初、校内を見学した時に、研究室に並べて掲示されている多様な研究テーマについてのパネルに目を奪われました。私も研究室に入ったら、負けずに素晴らしい研究結果を出したいと思っています。

長岡高専は、多くの友達を作り、新しい専門の勉強を進めていくのに大変良い環境だと感じています。今は将来のための一步を踏み出したばかりですが、これ

から皆さんと一緒に頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



物質工学科3年  
**カム メイ キー**  
(マレーシア) 

物質工学科3年のメイキーです。マレーシアから来ました。雪を見たから、長岡高専に留学することに決めました。日本に来たばかりの時、日本語がうまくしゃべれないだけでなく、日本での生活にもまだ慣れてなくて、困りました。これから、一人ぼっちで生活をするので、寂しく感じました。

しかし、2か月たって、チューターと先輩から色々なことを教えてもらって、寮の生活にだんだん慣れてきました。それに、寮内にいる日本人の学生と他の国から来た留学生と友達になったから、さびしさも少しずつなくなりました。今、住んでいる寮はとてもきれいで、食堂の食べ物がおいしく種類もたくさんあります。ある日、牛肉で作った料理しか残っていませんでした。宗教の関係で牛肉が食べられない私のために、わざわざ他の料理を作ってくれました。そのとき、心が暖かくなって嬉しかった。

最初は先生の話が聞き取れませんでした。先生が繰り返して説明してくれますので、授業が分かるようになりました。クラスの皆さんも親切で、色々教えてください。皆と仲良しになりたいです。どうぞよろしくお願いします。



物質工学科3年  
**キキ カスアリアリフィン**  
(マレーシア) 

長岡高専に入学してあっという間に2か月経ちました。始めて長岡に着いたとき、知り合いもなく、これからは生活や勉強はどうなるのかすごく不安でした。学校の寮には覚えなければならぬルールがたくさんあり、忘れて守らないと周りのみんなに迷惑をかけるので、毎日とても心配でした。学校でレポートを書くことや授業中の先生の説明を理解することが、日本語が下手で漢字が苦手な留学生にとってもっとも大変なことだと、先輩から聞いたことがありました。

しかし、私は長岡高専に入学して良かったと思うのは、寮生の先輩たち(留学生、日本人)や生活と

学習のチューターや先生方やクラスメートのみんながいつも優しく手伝って教えてくれることです。悩みも少しずつ無くなりました。本当にありがたいです。いつも与えてもらう側になるのはあまり良くないと思うので、出来るだけみんなの役に立てますように毎日頑張りたいと思っています。これからもまだまだご迷惑をかけると思いますが、よろしくお願いします。



環境都市工学科3年  
**グエン ティエン シー**  
(ベトナム)



はじめまして、私はシーと申します。ベトナムから参りました。日本に来て、1年8か月たちました。長岡高専に来るまえに1年半東京で日本語を勉強しました。日本人と一緒に暮らすのは初めてで、寮でみんなと楽しく生活しています。

最初、困ることがたくさんあって大変でしたが、先生方とチューターさんが助けてくれて、本当にありがとうございます。クラスの皆さんも楽しく話したり、勉強したり、一緒にご飯を食べたり…楽しんでいきます。ちなみに、初めて部活に参加出来てよかったです。毎日、授業が終わったら皆さんと遊んでいて、いい学生生活を送っています。

そして、学生課が私費留学生の私たちにたくさん援助して頂いて、生活が安心でちゃんと勉強できます。長岡高専に来て、私自分自身もだんだん変わってくる気がします。怠け者の私は図書館で勉強するようになりました。英語が嫌いな私は少し英語が好きになりました。

私は長岡高専に入ることがきっかけで、自分の人生も変わるかなと時々思っています。これから、私はもっと楽しい学生生活を送りたいです。それに、勉強も皆さんと一生懸命頑張っ、将来に向かって前向きに進み、夢が叶いますように。



留学生歓迎懇談会



日本文化体験

## 新入生合宿研修報告

本年度も4月10日(水)から12日(金)にかけて新入生合宿研修を下記のような日程で妙高青少年自然の家で行いました。

この研修を通して新入生は初めて顔を合わせたクラスメートたちや担任の先生との人間関係をつくる機会を持つこととなります。特に本年度はアイスブレイキングという集団活動を行いました。アイスブレイキングは新入生たちが一緒にレクリエーションゲームを行い交流を深めるプログラムで、写真2枚がその時の様子です。最初から最後まで新入生たちは楽しそうで大変良いプログラムであったと思います。このプログラムだけでなく、休み時間や昼食時などの自由時間も楽しそうに交流していて、最初はまったくの赤の他人だった新入生たちですが、研修が終わる頃にはお互いのことを理解し、同じクラスの一人としての意識を持たたのではないかと思います。

研修ではこれから5年間の高専生活を始めるにあたってのオリエンテーションも行われました。1日目の全体ガイダンスやクラス別ガイダンスです。授業風景、昼休み、放課後といった普段の学校生活の様子、学園祭、体育祭などの行事がパワーポイントで紹介され、単位とは何かや、成績の出し方、進級基準などの学習についてもパワーポイントを使って説明されました。これからの学

校生活や学習がどのような感じになるかのイメージを持ってくれたと思います。



- 10日 高田公園見学、クラスミーティング①(自己紹介)、全体ガイダンス
- 11日 試験(数学・英語)、クラス別ガイダンス、校長講話、クラス写真撮影、集団活動(アイスブレイキングと館内オリエンテーション)、クラスミーティング②(クラス役員選出など)
- 12日 学生主事講話、クラスミーティング③(作文など)

## ロボティクス部がロボットサッカーの世界大会に出場!!

本校ロボティクス部(以下ロボ部)は、平成25年5月3日(金)~6日(月)にかけて玉川大学で開催された、「ロボカップジュニア2013ジャパン・オープン」に参加し、「ジュニアサッカーオープンA」部門において優勝を果たしました。

チームは、6月26日(水)~29日(土)にオランダのaintホーフフェンで開催される世界大会に出場いたしました。

世界大会では残念ながら予選グループを勝ち上がることはできませんでしたが、ロボ部の技術を大きく向上させることができた価値のある大会内容でした。

長岡高専ロボ部は、今年のNHKロボコン優勝、そして、来年のロボカップ世界大会優勝に向けて更なるステップアップに励みます。引き続き応援よろしくお願いします!



世界大会での競技の様子



全国大会で優勝したロボット「The World」



全国大会に参加した本校ロボティクス部の部員  
M4木原君, EE4高橋君, EC4関君, EE3五十嵐君  
(サッカー部門)  
M3大塚君, EC3吉田君(レスキュー部門)  
M4金井君(メンター)

## 第48回(平成25年度)全国高専体育大会 競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧

競技種目		競技日程	競技会場
陸上		平成25年8月18日(日)～19日(月)	いわき陸上競技場
バスケットボール	男子	平成25年8月31日(土)～9月1日(日)	新青森県総合運動公園マエダアリーナ
	女子	平成25年8月31日(土)～9月1日(日)	新青森県総合運動公園マエダアリーナ
バレーボール	男子	平成25年8月24日(土)～25日(日)	一関市総合体育館
	女子	平成25年8月24日(土)～25日(日)	一関市総合体育館
ソフトテニス		平成25年8月21日(水)～22日(木)	(晴天時) 仙台市泉総合運動場泉庭球場 (雨天時) シェルコムせんだい
卓球		平成25年8月16日(金)～17日(土)	一関市総合体育館
柔道		平成25年8月24日(土)	宮城県武道館
剣道		平成25年8月18日(日)	鶴岡市小真木原総合体育館
硬式野球		平成25年8月20日(火)～21日(水)	秋田県立野球場(こまちスタジアム) 八橋硬式野球場
サッカー		平成25年8月17日(土)～20日(火)	宮城スタジアム 宮城県サッカー場 松島フットボールセンター
ラグビーフットボール		平成26年1月4日(土)～1月9日(木)	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場(予定)
ハンドボール		平成25年8月17日(土)～18日(日)	十和田市総合体育センター
テニス		平成25年8月28日(水)～30日(金)	(晴天時) いわき市平テニスコート いわき市南部テニスコート (雨天時) いわき市立総合体育館 福島高専第一・第二体育館
バドミントン		平成25年8月24日(土)～25日(日)	仙台市体育館
水泳		平成25年9月1日(日)	秋田県立総合プール



### 関東信越地区高専文化発表会が長岡で開催されます

平成25年8月30日(金)～31日(土)に第38回関東信越地区高専文化発表会がアオーレ長岡を会場として開催されます。

長岡高専をはじめとする関東信越地区の高専9校の文化系クラブ発表会。

吹奏楽・ダンスなどの発表、ロボティクス・化学等の実験や体験、他にも展示やジャグリングパフォーマンスなどもあります。

観覧自由ですので是非ご来場ください。詳しくはホームページをご覧ください。

# 国際交流推進センター

NNCT

国際交流推進センターでは、学生を海外に派遣し国際性を高める取組を行っており、これまで160名以上の学生が海外研修に参加しています。平成24年度はベトナムとシンガポール・マレーシアに35名の海外派遣研修を実施しました。今年度はベトナム、シンガポール・マレーシア以外にもタイの泰日工業大学での海外研修も計画しております。みなさん、海外研修や国際交流のことを「もっと知りたい! 分かってほしい!」と思ったら地球ラボに来てください。

## — 平成24年度学生海外派遣研修報告 —

### ベトナム (平成 25 年 3 月 21 日～26 日) 12 名

平成24年度学生海外派遣研修（ベトナム）は、平成25年3月21日(休)～26日(火)に、本科1～3年生の12名の学生と、教員2名の計14名の参加者で行いました。

ハノイでは、本校と学術交流の協定を結んでいる、ハノイコミュニティカレッジを訪問し、本校の学生は学校紹介と日本文化紹介を英語で行いました。その後、交流に来ていたフランス人学生との交流をはかりました。また、日本の政府開発援助で建設されている、6径間連続斜張橋であるニャットン橋建設現場を見学し、社会基盤の整備の大切さと、現地の方との仕事の進め方や、海外勤務での苦労などのお話を聞くことができました。加えて、歴史ある街であるハノイ市内の名所旧跡を見学しました。

ホーチミンでは、ベトナム戦争の記録を集めた戦争証跡博物館を始め、市内の名所旧跡の見学と、ミトーでのメコン川流域の見学を行いました。

今回の研修を通して、外国でのコミュニケーションや

国際的な視野、外国語学習の重要性、社会基盤整備の重要性、日本という国の再認識、などについて見識を深めることができました。また、行程を通じてベトナム料理を堪能し、またハノイやホーチミン市内ではショッピングも楽しみ、非常に充実した経験を得ることができました。



### シンガポール・マレーシア (平成 25 年 3 月 22 日～28 日) 23 名

研修では、シンガポールやマレーシア（ジョホール・バル）での文化探訪とシンガポール国立大学、南洋理工大学やリパブリック・ポリテクニクなどの教育機関、バイオポリスやフュージョンポリスなどの最先端の研究施設の見学を行いました。

文化探訪では、シンガポールを代表とするマーライオン、シンガポールフライヤーやマリナーベイサンズなどの近代的な施設、それとは対照的な昔ながらの寺院やマーケットなどを訪れ、シンガポールの風土、歴史、食を肌を感じながら思う存分体験しました。またマレーシアのジョホール・バルの文化探訪では国境越えをバスにて行い、物価と法律が異なる国々間の入国審査の厳しさを学びました。教育機関の訪問では、大学講義の聴講や学生交流を行いました。最先端の研究施設であるバイオポリスやフュージョンポリスの見学では研究で得られた成果物を直に触れ体験し、技術者を目指す若き学生に

とって良い刺激になったと感じております。

研修全体を通して、研修をサポートして頂いた現地の人々のサービス精神の旺盛さや温かさに触れ、国際観だけではなく人間観も養えた研修となり、一人間として大きく成長できたと感じております。



## 寮行事紹介

### 寮生総会・対面式

4月25日(木)夜の20時から、寮食堂で第1回寮生総会が開催されました。

はじめに、24年度決算報告・25年度予算案について承認、次に今年度各委員会の副委員長候補の承認がありました。そして最後に、阿部寮務主事より新年度の挨拶をいただきました。

寮生総会后引き続き、対面式へと移りました。対面式は寮友会幹部や寮務委員の先生方、新入寮生たちが在寮生の前で自己紹介するイベントです。最初に男女寮幹部、寮務委員の先生方から自己紹介をいただき、続いて、新入寮生1年生約70名、編入生、留学生の自己紹介がありました。新入寮生たちは、出身中学や兄弟・先輩の在寮の有無、入部した部活動なども交えながら、元気に自己紹介をしておりました。23時10分に全日程無事終了(途中点呼で中断)。みなさん、自己紹介ありがとうございました。声がかれた新入寮生が多かったこと察します。



### 寮防災避難訓練

5月16日(木)早朝6時25分を出火と想定した寮の防災訓練が実施されました。早朝の訓練ですが、災害等はいつ起こるかわかりません。共同生活の場で、お互いに声を掛け合い、落ち着いて適切な行動がとれるようになってもらうことが目的です。天候にも恵まれ、防災意識の向上、火災発生時における避難経路確保、消火器の取り扱いを学ぶよい機会でした。今年度は留学生全員にも消火器取り扱いの実習があり、貴重な体験ができました。避難訓練、消火器・清花寮非難はしご(オリロー)取り扱い訓練のすべてが終了したのは7時10分過ぎ。この日の朝食(寮食堂)はいつもより大賑わい。ひと仕事した後の朝食は格別ですね…。





## ■専攻科入試について

長岡高専の専攻科は、科学や工学の基礎を修得した人を対象にして、高専教育の特徴を保持しながら、より高度な教育と研究について教育を行い、それによって研究開発能力及び創造力を有する実践的な技術者を養成する2年からの課程です。入学する学生にとっての利点は、①細やかな講義を受けることができ、特別研究やゼミナールも研究室の指導教員と少人数で取り組むことができること、②高専5年間で行ってきた教育を基礎に、それらとの継続性を重視したカリキュラム編成をしていること、そして、③JABEE認定により修習技術者となり、試験では合格率が10%程度の技術士補の資格が得られることなどがあります。当然、「大学評価・学位授与機構」が行う審査にほとんどの修了生が合格するので、学士(工学)の学位が授与されて大学卒業と見なされます。専攻科には、「電子機械システム工学専攻」と「物質工学専攻」、「環境都市工学専攻」の3専攻があり、高専の全ての学科から進学が可能です。ここでは、専攻科受験の概要を説明します。

### 1. 募集定員

募集定員は、電子機械システム工学専攻が12名、物質工学専攻に4名、環境都市工学専攻に4名ですが、在籍している学生は、定員よりやや多い人数となっています。

### 2. 選抜区分と試験日

長岡高専専攻科の選抜は、「推薦による選抜」と「学力による選抜」、「社会人特別選抜」の3種類があります。選抜ごとの試験日を下表に示します。

選抜区分	試験日
推薦による選抜	平成25年5月11日(土)
学力による選抜	平成25年6月15日(土)
社会人特別選抜	平成26年1月21日(火)

「推薦による選抜」は、在学学校長が学業、人物とも優れていると認めた者が受験でき、推薦書と調査書の内容及び面接によって選抜が行われます。毎年5月中旬に行われ、今年度は5月11日(土)に実施されました。その結果、電子機械システム工学専攻に14名、物質工学専攻に6名、環境都市工学専攻に6名が合格しました。

「学力による選抜」は高等専門学校卒業及び卒業見込み相当の学生を対象とし、調査書の内容と学力検査

の成績、面接の結果を総合的に判断して合格者を決めます。実施時期は6月中旬で、今年度は6月15日(土)です。

「社会人特別選抜」は、高等専門学校卒業相当の方に広く門戸を開くために設置してあります。専攻科は、長岡高専を卒業した学生にとってたくさんの利点がある進学先です。是非、多くの学生に受験していただきたいと考えています。

## ■エンジニアリングデザイン教育の導入について

今年度から長岡高専の専攻科では、エンジニアリングデザインの教育を導入しました。エンジニアリングデザインとは、総合的な専門知識を活用してものを作る力、プロジェクトを推進していく力、そうしたデザイン能力、設計能力のことです。具体的には、3専攻の特別実験の前期中で、製品開発、システム開発の一連のプロセスに必要な会議法、発想法を学び、企画立案の進め方、グループで計画的に仕事を進める方法を身につけるために、エンジニアリングデザインに関する演習を導入しました。

エンジニアリングデザイン教育の導入にあたっては、世界的なニーズの高まりが背景にあります。直接は、JABEEのワシントン協定への加盟審査の折に、「日本はエンジニアリングデザイン教育が弱いのではないか」という指摘を受けたことから、大学4年生までの教育で最小限必要な能力を身に付けさせることがJABEEの認定基準に持ち込まれたことが契機となっています。

ところで、JABEEにおいてエンジニアリングデザイン教育は、「実際のデザインにおいて、構想力/課題設定力/種々の学問、技術の総合応用能力/創造力/公衆の健康・安全、文化、経済、環境、倫理等の観点から問題点を認識する能力、およびこれらの問題点等から生じる制約条件下で解を見出す能力/構想したものを図、文章、式、プログラム等で表現する能力/コミュニケーション能力/チームワーク力/継続的に計画し実施する能力などを総合的に発揮することが要求され、そのようなデザインの能力は内容・程度の範囲が広く、デザイン教育は技術者教育を特徴づける最も重要な要素であり、対象とする課題はハードウェアでもソフトウェア(システムを含む)でも構わない。」とされています。

これらの内容を教育するにあたって、大学4年生レベルのエンジニアリングデザインが創造的で、たびたび反復的に行い、オープンエンドなプロセスを学習経験させるものであることが授業カリキュラムに取り入れる際に考慮するよう求められています。また、課題を解決するエンジニアリングデザイン系の科目では、チームワークを発揮して解決に挑戦できるようなものが推奨されています。ただし、こうした教育実践は画一的な内容ではなく、実践例を参考にした独自性と創意工夫が必要な教育内容であるよう求められています。そして、長岡高専の特別実験ではそれらを目指した科目となっています。

## 研究室紹介

### 加工計測研究室

電子機械システム工学専攻1年 山上 裕太

私が所属している加工計測研究室を紹介したいと思います。加工計測研究室は、工場で物を生産する時に必要な機械の加工や計測に関して研究しています。そしてこの研究室では研磨に関する研究をしています。研磨とは物を磨く加工の事であり、物の表面に有る凹凸を平坦にすることを目的にした加工の事です。あまり研磨と聞くと馴染みは無いかもしれませんが、スマートフォンやカメラのレンズなど身近な物にも使われています。近年、製品の品質を高める為に製品の精度を上げることの重要性が高まっています。そこで精度を向上させる為の方法として、研磨加工が注目されています。しかし研磨加工は機械での加工が難しく、現在でもほとんどが熟練の職人による手作業で行われています。

そこで私たちの研究は手作業や機械での加工の妨げになっている加工欠陥の発生原因を解明することを目標としています。その為に装置を制作し、研磨加工実験を行ったり、研磨加工の観察実験を行ったりしています。



### 工業物理化学研究室

物質工学専攻1年 ヴァナディアン アスタリ スチ アティナ

私が所属している工業物理化学研究室には現在、本科生3名と専攻科生2名が所属しています。本研究室では主に有機薄膜太陽電池と色素増感太陽電池の高効率化に関する研究を行っています。今後、太陽電池はまだまだ伸びていく可能性を秘めており将来性を感じる分野の一つです。

この研究室の良いところは自分のペースで自由に研究や勉強を進めることができ、自主性がとても尊重されている点です。自主性を尊重されている分、研究や勉強をしっかりしなければと励みになり成長につながると思います。また、自分の頑張りが研究結果に活かされていくので、とてもやりがいを感じるすることができます。

自分が興味を持った研究分野なら楽しく研究や勉強ができると思いますし、卒業まで(もしかしたら専攻科も)過ごすことになる研究室なので、研究室配属の際は、いろいろな人に話を聞いてじっくり選んでほしいで

す。4年生でなくても、工業物理化学研究室や有機薄膜・色素増感太陽電池についてもっと知りたい方は、本研究室の学生や先生に是非尋ねてみてください。



### コンクリート工学研究室の紹介

環境都市工学専攻1年 葦澤 洋平

私たちの研究室には現在、専攻科2年生3名、同1年生1名、本科5年生4名が在籍しています。私たちの研究室では、塩害による鉄筋腐食を生じたコンクリート構造物の定量的診断方法の確立を目指して研究をしています。これを達成するためには解決しなければならない課題が多数あり、それが学生ひとりひとりに研究テーマとして割り振られており、課題を解決するために日々研究しています。コンクリート工学研究室では学生の自主性を尊重しているので、研究の進め方などは全て本人次第です。教授もアドバイス等行いますが、あくまでも研究の主役は学生本人です。したがって、自主性はもちろんのこと柔軟な思考力や問題解決力といった社会に出てからも役立つスキルを身に着けることができます。

コンクリート工学研究室なので、実験を行う前にまずは自分たちでコンクリートを練って供試体を作成しなければなりません。これがなかなかの重労働であり、一歩間違えると怪我につながりかねない作業もあるので、皆真剣に取り組んでいます。供試体が重たいので実験も一苦勞です。ひとりでできない作業は学生同士協力しながら行っています。

研究室のメンバーは皆明るくやんちゃですが、真面目でやる気に満ち溢れています。お互い協力しながら作業、実験を行うので学生同士の団結力はとても強く研究室の雰囲気はとてもよいです。コンクリートに興味があり、研究を通して自分を磨きたいと思っている4年生のみなさん、コンクリート工学研究室と一緒に研究しましょう!!



# 新任教職員紹介

## 第三の神話への旅



一般教育科 教授 **太田 昌孝**

シュールレアリスムの詩を研究し、創作してきた者の一人として、「シュールレアリスム(超現実)」の意味について問い直したいことがあります。

それは日本人の多くが〈シュールレアリスム＝現実離れ〉という誤解をしているからです。アンドレ・ブルトンの『シュールレアリスム宣言』はある種の煽動的意味を含んだ書物ですので、とかく尖鋭的な表現に目を奪われがちですが、文脈を丹念に辿ってゆくと、そこには「批評の目」が存在することに気が付きます。大切なことはこの「批評の目」を通過した次元で想起された精神を「シュールレアリスム」と呼ぶということです。つまり、「シュールレアリスム」とは精巧に仕組まれた「現実」であり、その文脈を支えているのはイメージと詩語との相関関係だということです。

このような事をこの20年余り考え続けて来ました。その契機を与えてくれたのが小千谷出身の詩人西脇順三郎です。ノーベル文学賞の候補に挙がること四度、残念ながら谷崎潤一郎と共に落選という結果に終わりましたが、島崎藤村以来綿々と継承されてきた日本的抒情詩の系譜にシュールレアリスムの楔を打ち込んだ功績は消えることはありません。来年は西脇順三郎生誕120年の記念すべき年です。その事業が立ち上がった本年4月1日に本校へ赴任することになったことは、私のこれまでの人生の中では最もモニュメンタルな出来事でした。

高校3年生の夏休み、野球部の厳しい練習から解放された私は、犬山城が見える母校の図書室で西脇の『ambarvalia』を初めて紐解きました。「(覆された宝石)のような朝 何人か戸口にて誰かとささやく それは神の生誕の日」(「天気」)。地中海の眩しい陽光の中で神の生誕を喜ぶ二人の女性の姿が私の脳裏を掠めました。それが長岡高専へ赴任する序章だったのかもしれません。

## 長岡高専に赴任して



一般教育科 講師 **大森 理聡**

今年度4月より一般教育科に赴任しました大森理聡と申します。前年度まで新潟県立高等学校で教員をしていましたが、このたび本校に赴任する機会を得ることができました。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで高等学校教員として新潟市、南魚沼市、糸魚川市で勤務してきました。大学進学を目指す高校生、英語の基本的な文法や発音などへ苦手意識を持つ高校生など幅広い層の高校生と共に勉強してきました。長岡市で生活し勤務することは初めてで不安でもありますが、楽しみでもあります。特に長岡工業高等専門学校の学生のみなさんは、自立心、自主性を持ち興味あることに熱心に取り組むという印象があり一緒に勉強できることがとても楽しみです。また、歴史ある長岡工業高等専門学校で教員をやることに責任と誇りを感じています。

研究面では、大学院時代から非英語母語話者の英語に興味を持ち研究しています。現実には、英語母語話者よりも非英語母語話者と英語を介してコミュニケーションをとることが当たり前の時代です。その中で非英語母語話者である日本人がどのような発音、文法、語彙を使用して別の国の非英語母語話者とコミュニケーションをとることが可能なかをこれからも研究していきたいと思えます。

英語は、情報を得るための道具です。新しい情報を多角的に得るためにも大変優れた道具です。日本人の中には完璧に英語ができないと英語を使いこなせないと考え、英語使用をあきらめてしまう方がいらっしゃいます。日本語だって間違える時は間違える。英語ならなおさらです。実際に使用し、間違え、正しい表現、伝わる表現を探っていくことが語学学習ではないかと思えます。英語を使用することに主眼を置いて学生たちの進路選択のために指導していきたいと思っています。

## 長岡高专に赴任して



電子制御工学科 助教 **上村 健二**

本年度4月1日付で電子制御工学科に赴任しました上村健二と申します。私は本校電子制御工学科を卒業後、千葉大学に進学しました。千葉大学修了後、

前年度まではオリンパスメディカルシステムズ(株)に勤務しておりましたが、このたび本校に採用いただき、教育・研究に携わる機会をいただきました。どうぞよろしくお願い致します。

大学在籍時は色彩工学や画像工学を学び、医療用画像の色再現や動画の画質改善に関する研究を行い、企業では医療機器の信号処理ソフトウェア開発を行ってきました。近年、グローバル化と情報技術発達による競争の激化により、社員に十分な教育を行う時間やお金をかけられない企業は少なくありません。そのような状況においては教育の果たすべき役割はますます大きくなり、特に高专においては非常に若い年齢から専門技術を学べることから大きな期待を持たれています。学生の皆さんは授業で工学技術の基礎をしっかりと学ぶだけでなく、卒業研究を通して習得した技術をどのように応用するかもトレーニングできます。問題に対して、技術や知識をどう使うか、どう組み合わせるかの柔軟な発想力を身に付けてほしいと思います。企業での経験を生かし、学生がこれら企業で必要とされている能力を身に付けられるよう日々の教育に取り組む所存です。

私が専門とする画像（映像）処理は、デジタルカメラが発売されてからの20年以上の歴史の中で数多くの手法が研究・実用化されてきました。それでも、産業分野においては新たな画像処理の要望はなくなり、さらに近年では動画画像や3次元画像等これまでになかった映像も注目されるようになってきました。このような社会の要望に応えるべく、今後も研究活動に一層精進致します。

## 《教育研究技術支援センター》

藤田 信行

●趣味

身の周りの品々のDIY, Scrap & Build など。

●抱負

昨年まで長岡技大に勤めておりましたが、縁あって技術職員として着任いたしました。「不学便老而衰」を肝に銘じ、今後も勉学に精進する所存です。



## 《総務課職員グループ》

小出 忠弘

●趣味

温泉と日本酒 長岡の酒蔵を巡りたいです。

●抱負

長岡市に通学・通勤するのは、通算8年目になります。早く仕事に慣れ、学生・教員のため、尽力させて頂きたいと思います。



## 《学生課教務・入試グループ》

大津 恵子

●趣味

睡眠、のんびりすること

●抱負

平成25年4月より、長岡技大との人事交流にて参りました。不慣れな点も多いですが、出来る限りお役に立てるように頑張ります。宜しくお願い致します。



## 《学生課教務・入試グループ》

星野 雄軌

●趣味

野鳥観察

●抱負

7月より長岡技大総務部財務課用度係から異動して参りました。

教務系の仕事は初めてなので不慣れな点が多くありますが、早く慣れて、力になれるようにしたいと思います。よろしくお願い致します。



## 《学生課学生支援グループ看護師》

太田 澄子

●趣味

お菓子作り(子供も喜ぶ、栄養価が高く身体にいい物を目指しています)

●抱負

病院での臨床経験しかありませんが、学校で必要とされる看護師としての役割を果たせるよう、努力していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



# TOPICS

## 留学生歓迎懇談会

平成25年5月13日(月)に学生食堂にて留学生歓迎懇談会が開催されました。今年度は、マレーシア2名、ベトナム2名、インドネシア1名が第3学年に編入し、エストニア1名を聴講生として受け入れました。総勢21名の留学生在籍しています。



## 新入生歓迎クラブ紹介

平成25年4月8日(月)に学生会主催で新入生歓迎クラブ紹介が行われました。各部、趣向を凝らしたパフォーマンスやパワーポイントなどによる新入部員の勧誘が行われました。



## 名誉教授授与式

平成25年4月10日(水)に本校応接室において、23年間にわたり本校に勤務され教育学術上、特に功績のあった近藤俊美先生(元機械工学科・教授)に対し、長岡高専名誉教授の称号が授与されました。



## クリーン作戦

平成25年4月18日(木)に毎年恒例のクリーン作戦を実施しました。全学生が分担して各教室の掃除と、各クラスに割り当てられた校外の周辺地域でのゴミ拾いを行いました。本活動は、本校の奉仕活動の一環として地域住民の方々にも大変喜ばれています。



## 文化競技会

平成25年5月17日(金)に文化競技会が行われました。当日は、逃走中、Water Gun Wars、巨大人生ゲーム、クイズ大会、ミスレディコンテスト、宝探し等が行われました。どの種目も大変盛り上がり、学生間や学生・教職員間で親睦が図れた良い1日だったと思います。



## 平成25年度科学研究費助成事業の採択状況

○採択件数：17件(うち、平成25年度新規採択件数10件) ○採択総額：32,760千円

学科	研究代表者	職名	課題名	区分	備考
一般教育科	佐藤 公俊	教授	ピアトリス・ウェブの福祉経済学の研究: フェミニズム・福祉国家論・社会経済学	基礎研究(C)	新規
	松永 茂樹	教授	分子動力学法による固体および液体電解質中におけるイオン間相互作用とダイナミクス	基礎研究(C)	
	高橋 剛	准教授	射影を用いた代数超曲面の関数体の構造研究—ガロワ点理論の進化—	基礎研究(C)	新規
	田中 真由美	准教授	クリティカル・リーディングのための英語教授法開発	若手研究(B)	新規
	田原 善宏	准教授	ファインマン・カット法関数に基づく確率解析とポテンシャル論への応用	若手研究(B)	
機械工学科	池田 富士雄	准教授	分散階層積分モデルの感覚情報フィードバックによる小型船舶用操舵支援システムの構築	基礎研究(C)	新規
	倉橋 貴彦	准教授	マイクロスケール特異要素FEMによる非線形材料接合体の界面はく離強度の解明	若手研究(B)	新規
電気電子システム工学科	中村 奨	教授	新規レーザー微細加工技術を利用した液晶ディスプレイ用の機能性拡散シートの開発	基礎研究(C)	
電子制御工学科	太刀川 慎一	教授	符号を使ったダイバーシティ通信方式の特性とハードウェア試作	基礎研究(C)	
	外山 茂浩	准教授	小型船舶による救急患者搬送用防護架台の省エネルギー・省スペース化	若手研究(B)	
物質工学科	菅川 正寛	准教授	有機C-MOSインバータを実現させる擬似Nチャネル形OFETの新構造とは?	挑戦的萌芽	新規
	菅原 正義	教授	湿熱伝導高アミロースを用いた腫瘍病者向けの食後血糖値が上がりにくい製菓食の開発	基礎研究(C)	
	田崎 裕二	准教授	マンツケの香りを特徴づける香気成分経皮膜メチルの生合成機構の解明	基礎研究(C)	新規
	荒木 秀明	准教授	単接合型太陽電池に最適なバンドギャップを持つ新材料による新型薄膜太陽電池の創出	若手研究(B)	新規
環境都市工学科	河本 結美	助教	軽運動および湿熱処理が不活動誘発性骨格筋インスリン抵抗性に及ぼす影響	研究活動サポート支援	
	荒木 信夫	教授	都市下水処理UASB内への揮発性原生動物の高濃度培養技術の開発	基礎研究(B)	新規
	村上 祐典	准教授	炭食ひび割れプロファイルに基づく鉄筋コンクリート内部の鋼材腐食プロファイルの推定	若手研究(B)	新規